

第3章 川崎遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

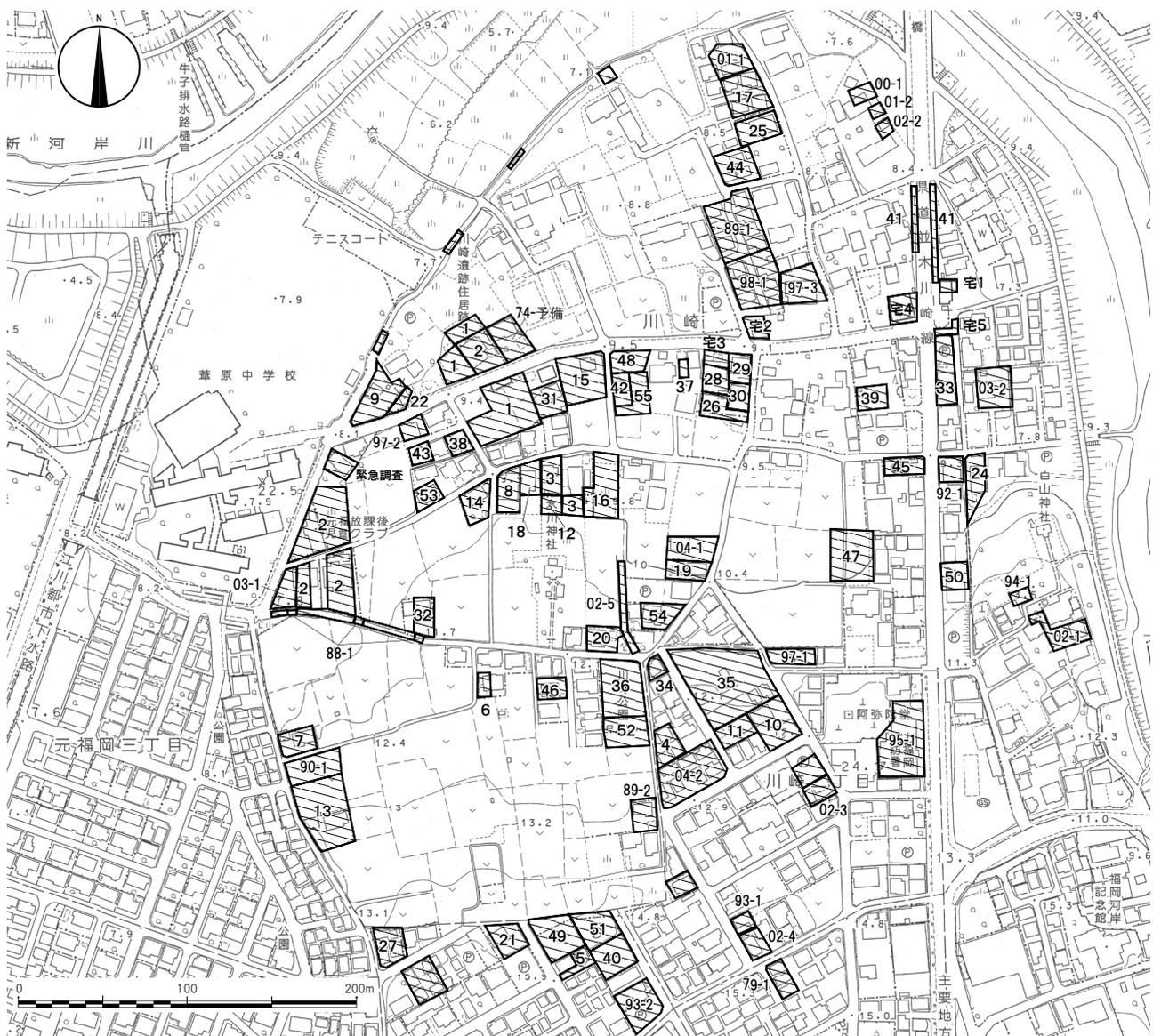
川崎遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の、いわゆる川崎台に立地している。台地の北側を東流してきた藤間江川は舌状台地の西側で新河岸川に合流し、かつては台地の先端より北東方向へ大きく蛇行していた新河岸川は、現在は台地東縁をなめるように流れる。

台地の幅は400～500m、台地の基部から先端へ1kmにわたり緩やかに傾斜しており、標高は最南部で18m、最北部では8mを測る。遺跡の範囲は南北600m、東西500m以上ある。虫食い状に宅地開発されるが、畑も良く残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に川崎横穴墓群が隣接し、東側に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

1917(大正6)年頃、台地の先端部で貝層が確認され1928(昭和3)年の調査では川崎貝塚として報告された。1967年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2020年4月現在88ヶ所で調査を行っている。

主たる時代と遺構は、縄文時代早期の炉穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下式坑、縄文時代と中世以降の貝塚等である。またローム層中からではないが、旧石器時代の遺物も出土している。

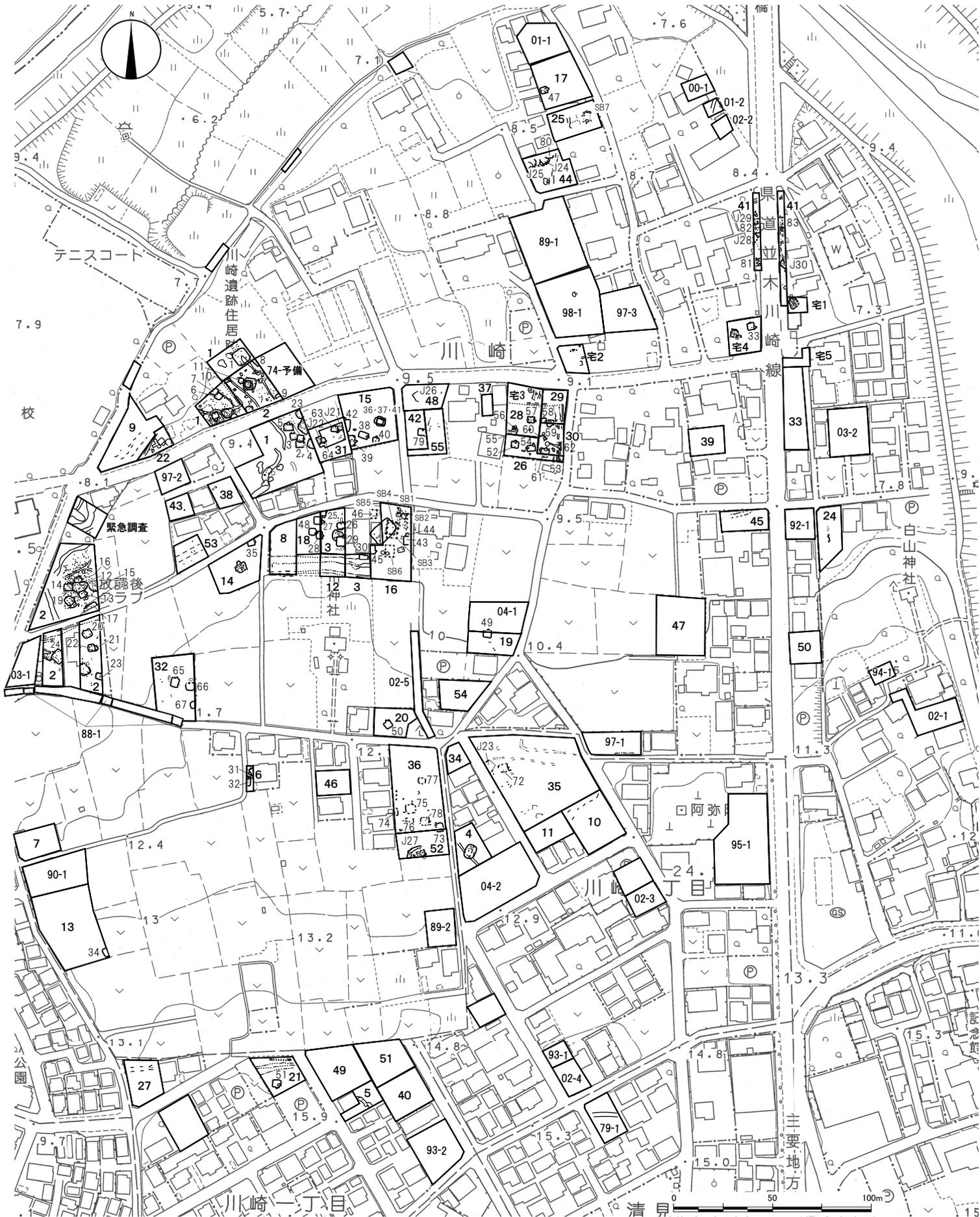


第8図 川崎遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第11表 川崎遺跡調査一覧表

地区地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	開発面積 (㎡)	調査面積 ()は試掘	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
74- 予備	川崎 160	(1974.3.25 ~ 4.4)	84		事前調査	炉穴、土坑、ビット、縄文土器等		上遺調
1次	川崎 162 ~ 176	1974.7.20 ~ 9.19	1,800		事前調査	縄文時代住居跡3、古墳時代住居跡1、古代住居跡7、焼土、集石、土坑、堀跡、溝、井戸、地下式坑、縄文土器、土師器等		川崎1次
緊急調査 宅1	大字川崎字宮後 168-3 大字川崎字宅地添 122	1975.3.30 ~ 5.10 1975.6.8 ~ 29	198 50		個人住宅 個人住宅	溝、縄文土器等 縄文時代住居跡1、貝塚、縄文土器等	宅地添1次A地区	上遺調
2次	川崎 137 ~ 174	1975.9.4 ~ 12.5	3,055		事前調査	縄文時代住居跡9、古墳時代住居跡6、古代住居跡10、炉穴、土坑、ビット、堀跡、溝、井戸、縄文土器、土師器等		川崎2次
3次	川崎 149-6	1977.11.1 ~ 12.3	300		宅地造成	縄文時代住居跡2、古代住居跡6、柱穴、溝、縄文土器、土師器等		川崎3次
宅2	川崎 198	1978.5.15 ~ 25	170		宅地造成	土坑、ビット、遺物なし	宅地添2次B地区	上埋I
宅3	川崎 230	1978.5.23 ~ 31	130		宅地造成	井戸、溝、地下式坑、遺物なし	宅地添3次C地区	上埋I
4次	川崎 2-5-2	1979.4.19 ~ 5.11	304		宅地造成	縄文時代住居跡1、ビット、溝、縄文土器等		上埋II・IV
5次	川崎 1-1-4	1979.9.26 ~ 10.10	152		宅地造成	溝状遺構、遺物なし		上埋II
79-1	清見 4-3-11	(1979.11.12 ~ 19)	260		宅地造成	溝、縄文土器		上埋II
6次	川崎 102-5	1979.12.3 ~ 8	30		プレハブ家屋	縄文時代住居跡2、古代住居跡2、縄文土器、須恵器等		上埋II
7次	川崎宮前	1981.11.27 ~ 30	316		個人住宅	遺構なし、平安土器		上埋IV
8次	大字川崎字宮脇 148-1	1984.1.17 ~ 26	400		住宅建設	溝、縄文土器		上埋VI
宅4	川崎宅地添 219-2・3	1984.9.25 ~ 10.9	301		住宅建設	縄文時代住居跡1、古代住居跡1、縄文土器、須恵器等		上埋VII
9次	川崎字宮後口 172-1・2	1986.9.11 ~ 20	495		個人住宅	溝、縄文土器等		上埋IX
10次	川崎 224-1	1987.11.24 ~ 30	603		個人住宅	溝、石斧		上埋X
11次	川崎 2-6-2	1988.5.10 ~ 17	289		住宅建設	遺構遺物なし		上埋11
88-1	市道402号線	(1988.9.19 ~ 21)	60		下水道設置	遺構遺物なし		上埋11
89-1	川崎字宅地添 196-1	(1989.4.10 ~ 18)	1,045		住宅建設	遺構遺物なし		上埋12
89-2	川崎字宮前 98-2	(1989.10.3 ~ 6)	264		住宅建設	遺構遺物なし		上埋12
12次	川崎字宮脇 149-4・5	1990.4.20 ~ 27	311		住宅建設	溝、遺物なし		上埋13
13次	川崎字宮前 122	1990.5.1 ~ 17	480		住宅建設	古代住居跡1、土師器		上埋13
90-1	川崎字宮前 122	(1990.5.18 ~ 23)	530		範囲確認	遺構遺物なし		上埋13
14次	川崎字宮脇 145-2	1990.10.1 ~ 31	499		個人住宅	縄文時代住居跡1、古代住居跡1、貝塚、須恵器等		上埋13
15次	川崎字宮後口 160-1	1991.10.23 ~ 11.20	499		個人住宅	古代住居跡7、土坑、緑釉陶器、墨書土器、石製紡錘車等		上埋14
92-1	川崎字山向 9-5	(1993.2.18 ~ 19)	168		店舗併用住宅	遺構遺物なし		上埋15
93-1	川崎 2-2-10・11	(1993.8.24)	131		個人住宅	遺構遺物なし		上埋16
93-2	川崎 1-1-1の一部	(1993.9.10 ~ 13)	422		共同住宅	遺構遺物なし		上埋16
94-1	川崎字台 258 外1筆	(1994.11.17 ~ 24)	230		機材置場	遺構遺物なし		上埋17
95-1	川崎 2-7-2・3	(1995.10.13 ~ 16)	1,126		消防署	遺構遺物なし		上埋18
16次	川崎字宮脇 150-2・3	(1995.12.4 ~ 8) 1995.12.11 ~ 1996.3.8	828		駐車場 資材置場	縄文時代住居跡3、古代住居跡4、古代掘立柱建物跡6、竪穴状遺構、土坑、井戸、縄文土器		H7 上社、上埋 18、 説明会資料「私たちの埋蔵文化財」
17次	川崎字宅地添 204 の一部	(1996.7.8 ~ 12) 1996.7.15 ~ 23	779	(779) 130	宅地造成 個人住宅	古代住居跡1、墨書土器、須恵器等		上埋 19
18次	川崎字宮脇 148-3	(1996.11.11 ~ 12) 1996.11.18 ~ 25	198		個人住宅	古代住居跡3、土師器等		上埋 19
97-1	川崎字山向 21	(1997.4.14)	367		宅地造成	溝、遺物なし		上埋 20
97-2	川崎字宮後口 165-6	(1997.10.20)	204		個人住宅	遺構なし、縄文土器片		上埋 20
97-3	川崎字宅地添 199-1・2・5	(1998.2.12 ~ 16)	780		個人住宅	遺構遺物なし		H9 上社
98-1	川崎字宅地添 197-1	(1998.10.27 ~ 11.6)	996		宅地造成	土坑、縄文土器等		上埋 21
市道402号線 2次	川崎字宮前、宮脇地内	2000.2.21 ~ 25	496		道路敷設	縄文時代住居跡1		H11 上社
00-1	川崎字宅地添 209 の一部	(2000.6.19 ~ 22)	123.3		個人住宅	遺構なし、貝殻、縄文土器等		上埋 23
01-2	川崎字宅地添 209 の一部	(2001.6.12 ~ 25)	100		車庫	溝、土坑、縄文土器等		上埋 24
19次	川崎字宮脇 157 の一部	2001.9.18 ~ 10.4	289		個人住宅	古代住居跡1、土坑、土師器等		上埋 24
01-1	川崎字宅地添 204-1	(2001.10.29 ~ 30)	825		宅地造成	遺構なし、縄文土器片等		上埋 24
02-1	川崎 249-1 の一部	(2002.5.13)	341		倉庫	遺構なし、縄文土器等		上埋 25
02-2	川崎 210-1・2 の一部	(2002.10.28 ~ 29)	551		共同住宅	溝		H14 上社
02-3	川崎 2-4-16	(2002.12.24)	228		個人住宅	遺構遺物なし		H14 上社
02-4	川崎 2-2-12	(2003.3.13)	165		個人住宅	遺構遺物なし		H14 上社
02-5	川崎字宮脇 155 先	(2003.3.26)	164		市道401号線	遺構遺物なし		H14 上社

地区地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	開発面積 (㎡)	調査面積 ()は試掘	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
03-1	川崎 137-1 の一部	(2003.8.6・7)	257		個人住宅	遺構なし、縄文土器片		上埋 26
03-2	川崎字宅地添 226-16	(2003.12.8・19)	381		個人住宅	遺構遺物なし		上埋 26
宅 5	川崎字宅地添 222-3 先	2004.2.16～18	88		市道 381 号線	古墳時代住居跡 1、壺型土器		H15 上社
04-1	川崎字宮脇 157-1 の一部	(2004.6.14・15)	421		個人住宅	竈、土師器等		上埋 27
04-2	川崎 2-5-1	(2004.11.1～4)	881		宅地造成	遺構遺物なし		上埋 27
20 次	川崎字宮脇 153-5	(2005.11.22～27) 2005.11.28～12.2	257		個人住宅	古墳時代住居跡 1、土師器		市内 1
21	川崎 1-6-10 の一部	(2006.4.11) 2006.4.14～20	298	(124)	個人住宅	古代住居跡 1、溝、縄文土器等		市内 3
22	川崎 171-1、174-10	(2007.4.16～23) 2007.4.24～5.22	104	(104) 104	消防分団車庫	炉穴、土坑、溝、地下式坑、穴蔵、墨書土器、瓦塔、花瓶等		市内 4
24	川崎字宅地添 225-3	(2007.10.4)	319	(26)	共同住宅	溝、土師器片		市内 4
25	川崎字宅地添 203-1 の一部、203-3 の一部	(2008.4.14) 2008.4.15～17	1,033	(55)	個人住宅	古代掘立柱建物跡 1、土坑、ピット、溝、地下室、灰釉陶器、縄文土器等		市内 6
26	川崎字宅地添 230-5	(2008.4.21) 2008.4.22～5.17	228		個人住宅	古代住居跡 4、土坑、ピット、井戸、墨書土器等		市内 6
27	川崎 1-7-1	(2008.5.15～21)	350	(112)	分譲住宅	土坑、溝、縄文土器等		市内 6
28	川崎字宅地添 230-7	(2008.7.4～9) 2008.7.10～8.8	434	(160)	個人住宅	古代住居跡 3、土坑、溝、土師器等		市内 6
29	川崎字宅地添 230-1	(2008.7.9～11) 2008.7.14～8.22	203	(108)	個人住宅	古代住居跡 2、土坑、ピット、溝、墨書土器、土師器等		市内 6
30	川崎字宅地添 230-6	(2008.7.17) 2008.7.18～9.5	200		個人住宅	古代住居跡 4、土坑、ピット、溝、井戸、灰釉陶器、墨書土器等		市内 6
31	川崎字宮後 161-1・5・6	(2009.10.28) 2009.10.28～11.27	304	(103)	個人住宅	縄文時代住居跡 2、古代住居跡 2、ピット、縄文土器、須恵器等		市内 8
32	川崎字宮脇 140 の一部	(2011.2.24～3.2) 2011.3.4～25	396	(166.5)	個人住宅	古代住居跡 3、土坑、ピット、須恵器等		市内 10
33	川崎字宅地添 226-5	(2011.4.14～21)	438	(135)	共同住宅	遺構遺物なし		市内 14
34	川崎 2-5-4	(2011.7.25～26)	117.8	(23)	分譲住宅	遺構遺物なし		市内 14
35	川崎 2-6-4～7・9	(2011.9.27～11.24)	1,924	(668)	分譲住宅	縄文時代住居跡 1、古代住居跡 1、土坑、ピット、溝、縄文土器、須恵器等		市内 14
36	川崎字宮前 100-1	(2011.12.15～26) 2012.1.10～17	1,096	(439) 22	公園整備	古代住居跡 6、土坑、ピット、墨書土器、須恵器等		市内 14
37	川崎字宅地添 232-1	(2012.9.3)	1,298	(15)	個人住宅	遺構なし、須恵器		市内 15
38	川崎字宮後 165-3	(2013.2.25) 2013.2.26・27	176	(25) 5	個人住宅	焼土、ピット、縄文土器等		市内 15
39	川崎字宅地添 227-1	(2013.3.4・5)	1,121.33	(34)	個人住宅	遺構なし、縄文土器等		市内 15
40	川崎 1-1-7	(2013.10.11～17)	447	(172.5)	共同住宅	遺構なし、陶器		市内 18
41	川崎 218-1 他	2014.8.1～10.31	419		道路	縄文時代住居跡 3、古代住居跡 3、炉穴、土坑、ピット、溝、畝跡、縄文土器、須恵器等		県埋文 420
42	川崎字宅地添 233-3	(2015.6.26・7.2)	200	(39)	集会所	古代住居跡 1、土師器等		市内 22
43	川崎字宮後 165-5・8・9	(2015.6.26)	175.21	(20)	個人住宅	焼土、縄文土器		市内 22
44	川崎字宅地添 202-1・8	(2015.11.24～12.10) 2016.1.5～20	273.56	(124)	分譲住宅	縄文時代住居跡 2、古代住居跡 1、貝塚、土坑、ピット、溝、地下式坑、縄文土器、須恵器等		市内 19
45	川崎字山向 8-4、7-7・8	(2017.2.22～24)	254.72	(55.65)	個人住宅	溝、縄文土器等		市内 24
46	川崎字宮前 101-5、103-8	(2017.3.13)	199	(4)	個人住宅	掘り込み遺構、須恵器		市内 24
47	川崎字山向 15-1、16-1	(2017.12.19)	749	(5)	資材置場	遺構遺物なし		市内 24
48	川崎字宅地添 234-1	(2018.8.27～30)	266	(41)	個人住宅	縄文時代住居跡 1、ピット、溝状遺構、縄文土器等		市内 25
49	川崎 1-1-5	(2019.2.7・8)	509	(106.41)	分譲住宅	根切り溝、縄文土器等		市内 25
50	川崎字山向 10-4 の一部	(2014.9.8)	120	(20)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 20
51	川崎 1-1-6	(2019.5.8・9)	394	(97.14)	分譲住宅	遺構遺物なし		市内 25
52	川崎字宮前 99-1	(2019.5.22～24) 2019.5.28～6.19	635	(172.4) 82.5	個人住宅	縄文時代住居跡 1、古代住居跡 1、瓦片		市内 25
53	川崎字宮後 166-1・9～11	(2019.11.5・6)	212	(47.5)	分譲住宅	堀跡、縄文土器、陶磁器片		市内 25
54	川崎字宮脇 155-6	(2020.2.20・21)	313.62	(23.25)	個人住宅	遺構なし、泥面子		市内 25
55	川崎字宅地添 232-4、233-1 の各一部	(2020.3.16・17)	235	(22.35)	個人住宅	溝、須恵器片		市内 25



第9図 川崎遺跡遺構分布図(1/2,500)

II 川崎遺跡第48地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2018年8月10日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2018年8月27～30日にかけて試掘調査を実施した。

試掘調査は幅1.5mのトレンチ4本を設定し、重機による表土除去後人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約70～90cmである。

調査の結果、縄文時代住居跡1軒と溝1条を検出した。保護層の確保が可能のため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① J26号住居跡

【位置・検出状況】調査区中央部に位置する。保護層の確保が可能であったため、一部分のみの検出。

【形状・規模】円形または隅丸方形を呈するものと推測される。

【構造】柱穴と考えられるピットを住居内北側で1基検出した。平面形態は円形を呈し、確認面径37×33cm、底径21×13cm、深さ25.2cmを測る。また、上幅15～25cm、下幅5～10cm、深さ10～15cmを測る壁溝を伴い、壁溝内にピットが認められる。炉については、今回の調査範囲内では検出されなかった。

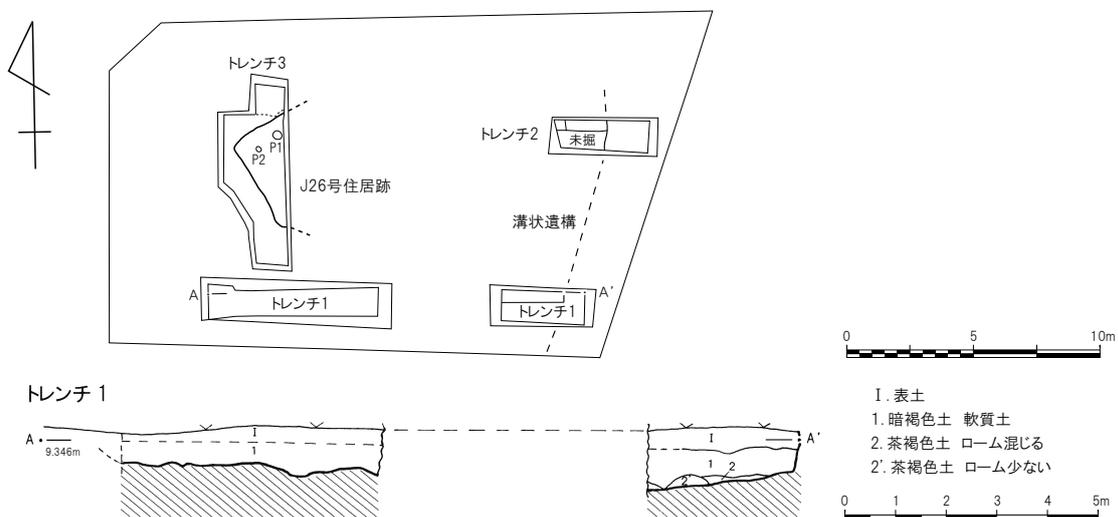
【遺物出土状況】遺物は、縄文土器片が僅かに覆土中より出土したのみである。

②ピット

ピットはJ26号住居跡の床面より下で検出した。平面形態は円形を呈し、確認面径21×20cm、底径12×9cm、深さ24.6cmを測る。出土遺物がないため時期は不明だが、切り合い関係からJ26号住居跡より古いと考えられる。

③溝状遺構

溝状遺構は調査区東側のトレンチ1及びトレンチ2で検出した。南北方向に走行し、調査区外へ延伸する。部分的な調査のため全容については不明だが、断面形態は逆台形を呈するものと考えられる。確認面からの深さは152.3cmを測る。覆土中より須恵器碗の破片が出土したが、遺構の時期を決定するものではない。



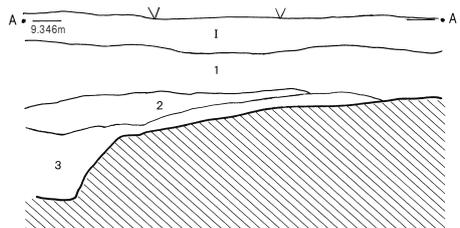
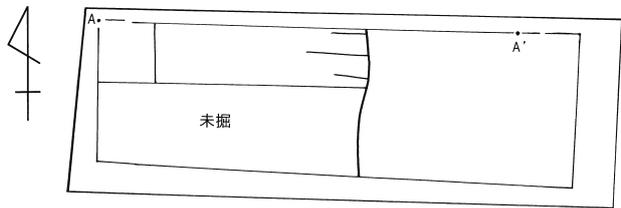
第10図 川崎遺跡第48地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)

J26号住居跡

掘方



溝状遺構



J26号住居跡

- 1. 表土
- 2. 暗褐色土 締り強
- 3. 暗褐色土 比較的軟質
- 4. 暗褐色土 小ロームブロック多量に含む
- 5. 茶褐色土 床直上を覆う
- 6. 黒褐色土 軟質、間層に入る
- 7. 茶褐色土 締り強、ローム混じりが少ない
- 8. 黄褐色土 (流れ込み) 締り強、ロームブロック含む

溝状遺構

- 1. 表土
- 2. 茶褐色土 軟質土
- 3. 褐色土 粘土ブロック含む
- 4. ポロポロの褐色土

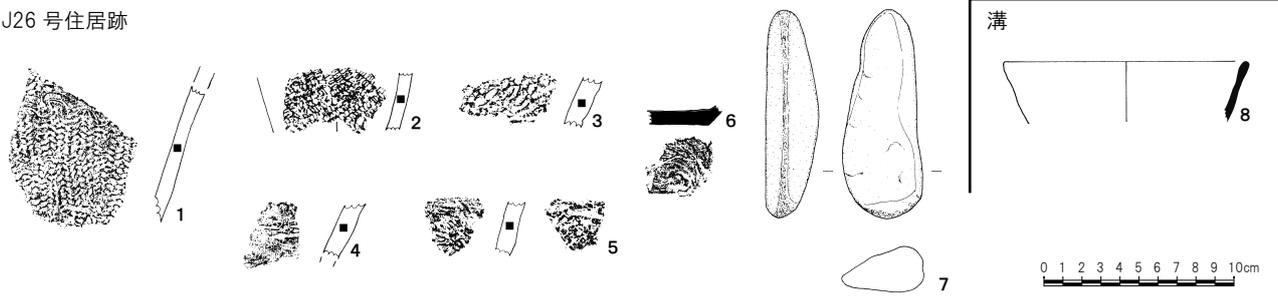


第11図 川崎遺跡第48地点 J26号住居跡・溝状遺構 (1/60)

④ 出土遺物

出土遺物については第12図及び第12表に詳細を掲載した。

J26号住居跡



第12図 川崎遺跡第48地点出土遺物(1/4)

第12表 川崎遺跡第48地点出土遺物観察表(単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	技法・文様・備考	時期・型式
第12図-1	J26号住居跡	縄文・深鉢	胴部、組紐施文後コンパス文 / 内面に煤付着、胎土に繊維と白色粒子を含む	前期・関山II
第12図-2		縄文・深鉢	胴部、0段3条LROとRLの羽状 / 胴部径(8.0)cm、内面に煤付着、胎土に繊維と白色粒子を含む	前期・関山
第12図-3		縄文・深鉢	地文RL縄文 / 内面に僅かに煤付着、胎土に繊維と白色粒子を含む	前期
第12図-4		縄文・深鉢	条痕文 / 内面に煤付着、胎土に繊維とチャートなどの小礫を含む	早期か
第12図-5		縄文・深鉢	条痕文 / 胎土に繊維と小礫を含む	早期か
第12図-6		須恵器・坏	轆轤成形、底部糸切り未調整 / やや焼成不良(7.5YR 5/3 にぶい褐色)、僅かに白色針状物質を含む	9世紀代
第12図-7		石器・敲き石	長さ: 11.1 cm、幅: 4.2 cm、厚さ: 2.4 cm、材質・砂岩	—
第12図-8	溝状遺構	須恵器・坏? 碗?	轆轤成形・口径(13.0)cm、焼成不良(7.5YR 7/6 橙色)、僅かに小礫を含む	8世紀後半~ 9世紀前半

第14表 川崎遺跡縄文時代住居跡一覧表

住居 番号	調査 年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規 模	炉			埋 甕	拡張	周 溝	主軸方位	時 期	備 考	所収報告書	
						地 床	炉 体	石 囲								
1	1974	第1次 LN03	2/3	方形	430 × 380	○						N-16-E	諸磯 a		川崎1次、市史資Ⅰ	
2		第1次 LN19	2/3	長方形	— × 550	○				④	○	N-42-E	黒浜			
3		第1次 LN20	2/3	長方形	560 × 420	○					○	N-59-E	黒浜			
4	1975	第2次 LN70	1/2	隅丸長方形	— × 330								黒浜		川崎2次、市史資Ⅰ	
5		第2次 LN73		隅丸長方形	350 × 260	○						N-6-W	花積下層?	LN73・74・76・ 77の順で構築		
6		第2次 LN74		隅丸方形	820 × 810	○						N-80-W	前期			
7		第2次 LN76		不整形	390 × 290	○						N-10-E	前期			
8		第2次 LN77		隅丸長方形		○							前期			
9		第2次 LN08	1/2	隅丸長方形	— × 570	○						N-88-E	関山			
10		第2次 LN34		不整形	520 × 480							N-15-W	黒浜?	H19住・LN35と 重複		
11		第2次 LN35						未検出					前期	10J住・H19住 と重複		
12	第2次 LN25	大部分	長方形	— × 450			未検出				N-68-W	関山	H24住と重複			
13	第2次 LN50	1/2以上	長方形	620 × 460	○						N-35-W	関山				
14	宅地添1次	完掘	不整形	390 × 410	○						N-22-W	早期未葉～ 前期初頭	貝層伴う	上遺調		
15	1977	第3次 J7		不明									花積下層	川崎3次、市史資Ⅰ		
16		第3次 J8		不整形									花積下層			
17	1979	第4次1号住居	完掘	隅丸長方形	645 × 505	○						N-36-E	黒浜		上埋Ⅱ・Ⅳ、 市史資Ⅰ	
18		第6次1A											黒浜	1B・1Cと重複		
19		第6次1C											黒浜	1A・1Cと重複		
20	1984	宅地添第4次2号住居	完掘	柄鏡形	円径3～4m	○						①	○	加曾利	上埋Ⅶ	
31	1990	第14次1号住居	完掘									N-52-E	関山Ⅰ	貝層を伴う	上埋13、市史資Ⅰ	
32	1995	第16次3号住居											黒浜	炉跡のみ	H7上社、説明会資 料「私たちの埋蔵文 化財」	
33		第16次4号住居											黒浜	炉跡のみ		
34		第16次7号住居	完掘	長方形	1200 × 800							N-45-E	黒浜	大型住居		
35	2000	市道402号線2次											関山		H11上社	
21	2009	第31地点J21号住居	75%	柄鏡形	(500) × 420								②	称名寺Ⅰ	市内8	
22		第31地点J22号住居	25%					○					○	加曾利EⅣ		
23	2011	第35地点J23号住居	一部	台形か 長方形	520 × —								黒浜	未検出	市内14	
24	2015	第44地点J24号住居	一部	円形か 方形									○	○	黒浜	H80住と重複
25		第44地点J25号住居	一部	円形か 隅丸方形										○	黒浜	地下式坑と重複
26	2018	第48地点	一部	円形か 隅丸方形										前期?	市内25	
27	2019	第52地点	75%	隅丸長方形	940 × (600)	○						N-72-E	黒浜		市内25	
28	2014	第41地点2号住居		楕円形	(430 × 110)							N-0	黒浜		川崎2次、市史資Ⅰ	
29		第41地点4号住居		隅丸方形	(490 × 200)							N-7-E	関山	3号住と重複		
30		第41地点5号住居		方形	(370 × 350)							N-7-E	茅山上層	土坑・炉穴と重 複		

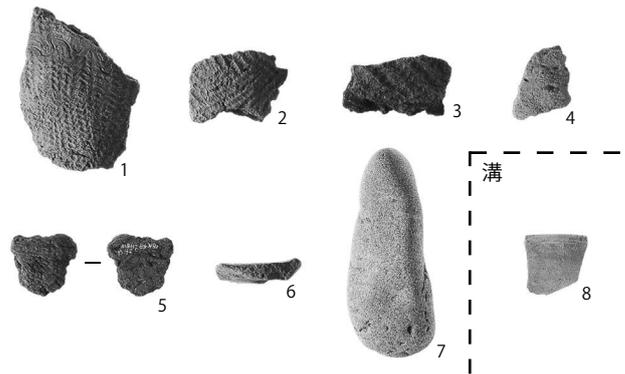


川崎遺跡第 48 地点 J26 号住居跡検出状況



川崎遺跡第 48 地点掘方

J26 号住居跡



川崎遺跡第 48 地点出土遺物